

SID R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第2巻第29号

第29週(7月15日～7月21日)

発行年月日:平成14年(2002年)7月26日

発行:滋賀県立衛生環境センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (29週)	累積報告数 (1週～29週)	平成13年 報告数
1類感染症	報告なし	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	4	4
	パラチフス	0	1	0
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	4	44
4類感染症	アメーバ赤痢	0	4	5
	エキノコックス症	0	1	0
	急性ウイルス性肝炎	0	2	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	0
	後天性免疫不全症候群	0	2	6
	ジアルジア症	0	0	1
	ツツガムシ病	0	0	2
	梅毒	0	3	6
	レジオネラ症	0	0	1

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数		
	29週	増減	23週～28週
インフルエンザ	0		0.02
咽頭結膜熱	0.94		0.72
A群溶連菌咽頭炎	0.72		0.59
感染性胃腸炎	1.66		3.18
水痘	1.22		2.57
手足口病	1.22		0.66
伝染性紅斑	0.31		0.38
突発性発疹	0.75		0.63
百日咳	0		0.02
風疹	0		0.03
ヘルパンギーナ	1.56		0.88
麻疹	0.03		0.05
流行性耳下腺炎	0.75		1.19
急性出血性結膜炎	0		0
流行性角結膜炎	0.14		0.72
急性脳炎	0		0.02
細菌性髄膜炎	0		0
無菌性髄膜炎	2.29		1.33
マイコプラズマ肺炎	0.29		0.29
クラミジア肺炎	0		0
成人麻疹	0		0

* 増減は、平成14年23週～28週の平均に対する今週との比較
増加 減少 変化なし

* 太字は、今週の注目される疾患です。
全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページにおいて公表されています。
(<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>)

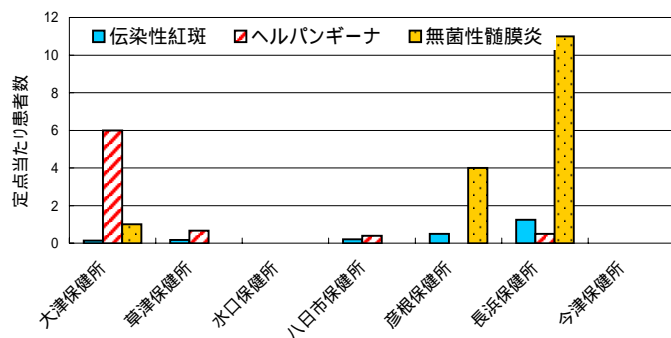
3) 今週のトピックス

無菌性髄膜炎の増加は持続 咽頭結膜熱、ヘルパンギーナの発生に地域的な偏り

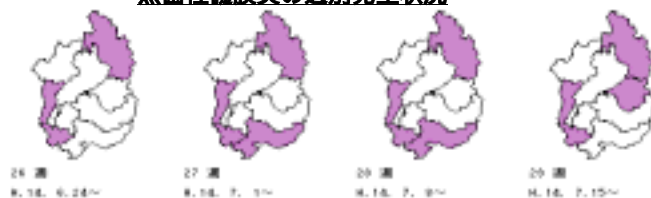
滋賀県における定点当たり患者数について、平成14年23週～28週の平均と平成14年の29週を比較すると、咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナ、無菌性髄膜炎等に増加傾向がみられます。特に咽頭結膜熱については大津保健所管内でのみ報告されており、定点当たり患者数は4.29と高くなっています。

また、伝染性紅斑については、県全体としては減少傾向を示していますが、長浜保健所管内で1.25と高くなっています。ヘルパンギーナについては、先週と同様に大津保健所管内で6.00となっています。無菌性髄膜炎については、長浜保健所管内で11.00となっています。各疾患の発生状況は下記のグラフのとおりです。

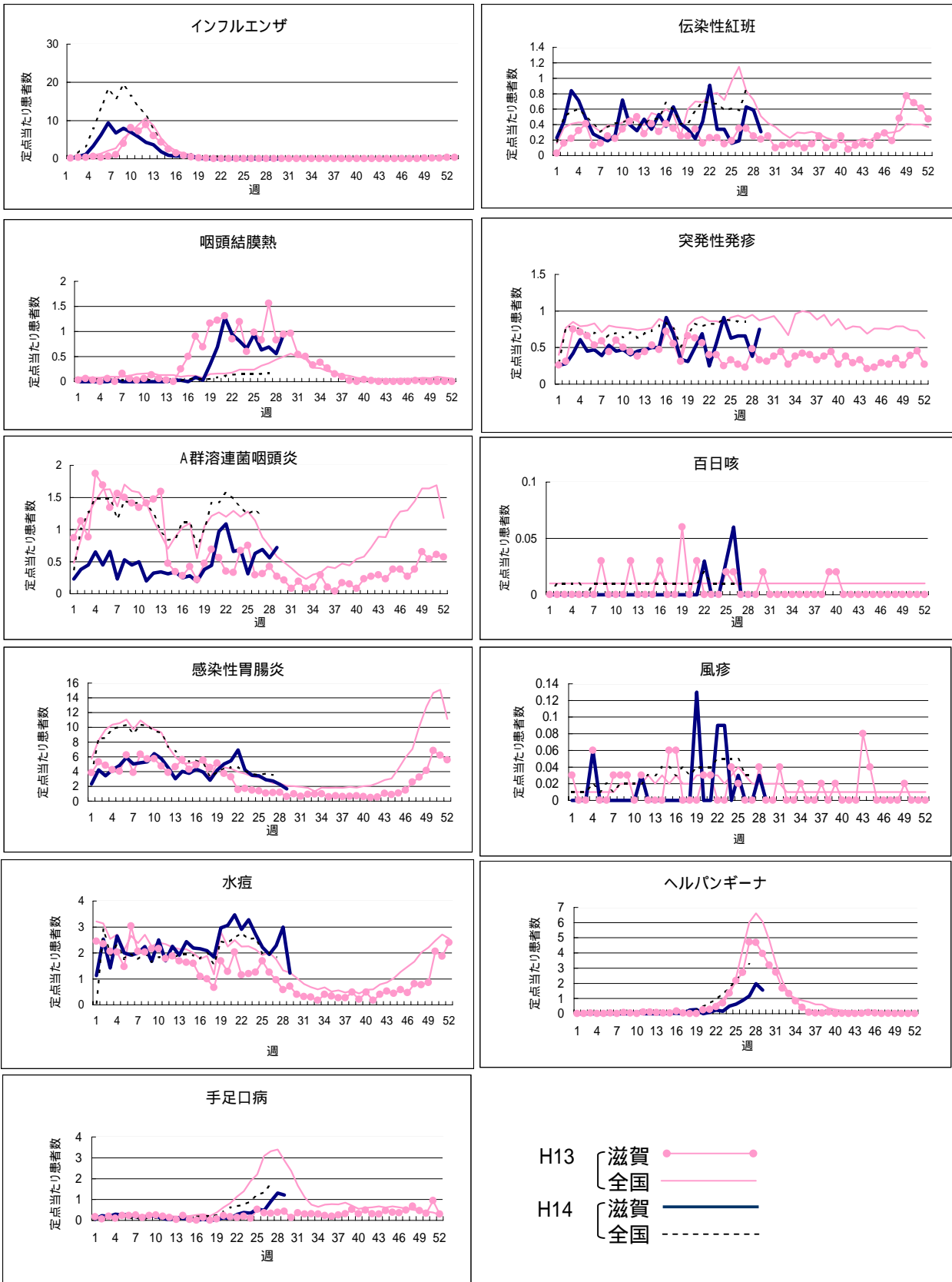
伝染性紅斑、ヘルパンギーナ、無菌性髄膜炎の保健所別発生状況



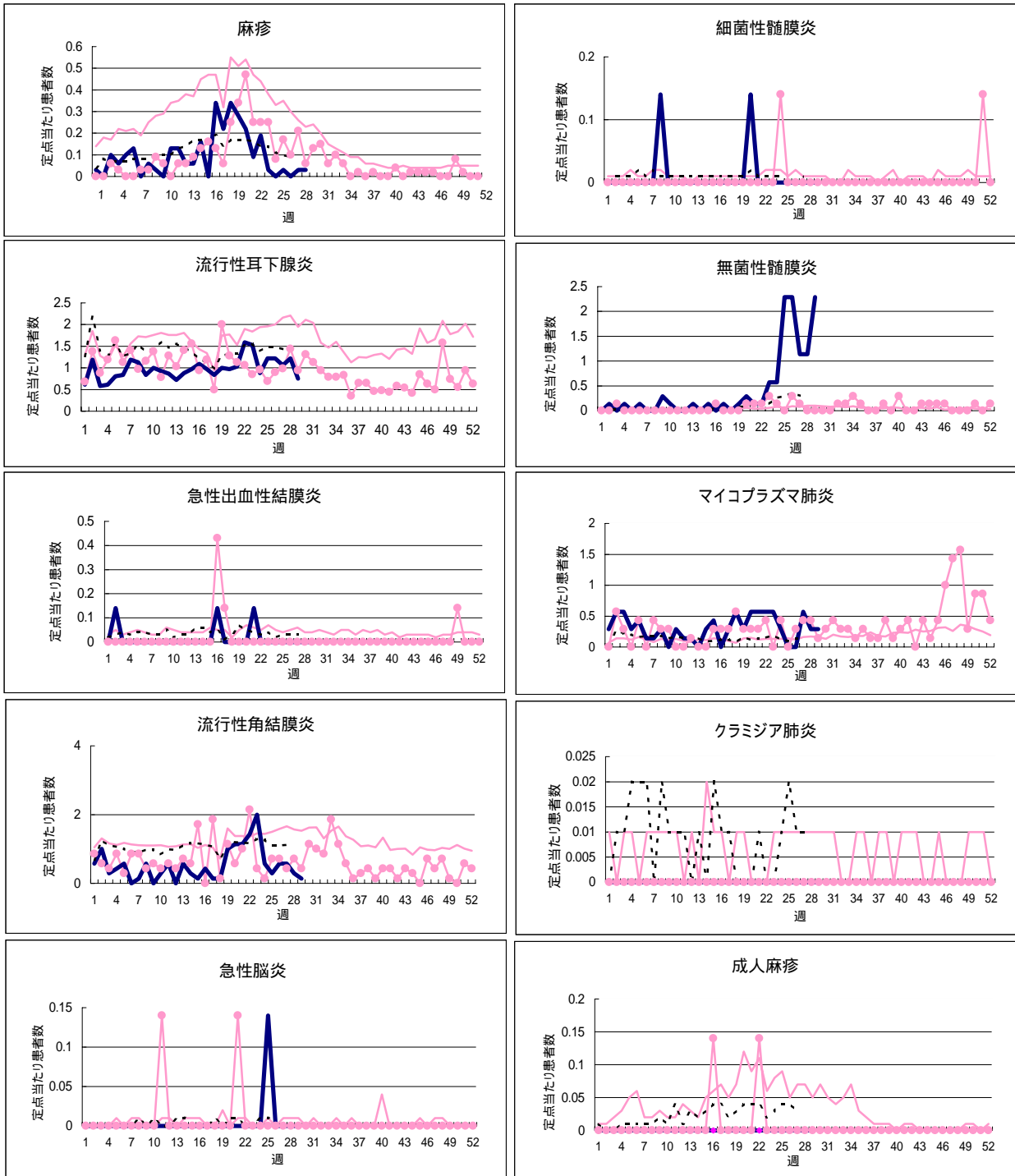
無菌性髄膜炎の週別発生状況



疾病別定点当たり患者数(平成14年第1週～第29週)



疾病別定点当たり患者数(平成14年第1週～第29週)



H13 { 滋賀 ●——●
 全国 ———
 H14 { 滋賀 ———
 全国 - - - - -